※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００１

令和５年度　美術工芸

教科	芸術	科目	デッサンⅠ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	資料プリントなど適時配布						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

鉛筆削りから平易な課題まで基礎的な課題を中心に、観察力・描写力を養う。また、色彩構成、立体造形の基礎を学び、総合的な造形力を養う。

２　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）　対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

（２）　造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

（３）主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・造形の要素の働きを理解している。 ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている ・意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表している。 ・立体の基本的な構成要素から観察・描写し、物の形や光のありようについて理解している	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想をし、構想を錬ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 ・多様な素材の課題から、それぞれの質感の違いを見抜き描き分けようとする観察力と描写力により表現している。	・主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。 ・ひとつのテーマからイメージをたくさん出すなど、多様なアイデアを創造しようと挑戦している。 ・合評などを通してものの見方や考え方、アイデアの出し方、技法の効果的な使い方などを創意工夫している

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	デッサン	オリエンテーション 鉛筆削り、クロッキーの説明 デッサン（単品） ・球、立方体、円柱など	a: 道具の効果的な使い方を理解し作業している。 b: 多様なアイデアを出し立体を意識したスケッチをしている。 c: 物をしっかり観察し形・質感･量感を感じさせようと意欲的に取り組んでいる。	制作途中の作品 完成作品 ｸﾛｯｷｰ	ワークシート 観察	振り返りシート 活動の様子
	色彩構成	色彩構成（基礎） ・色面分割によるイメージ表現	a: 配色、絵の具の特性、画面構成など、色彩構成の基本を理解している。 b: 色や絵の具の特性を理解し、テーマに沿った表現を追及している。 c: 自他の作品をよく観察し、より良い表現を目指し創意工夫している。	制作途中の作品 作品 ｸﾛｯｷｰ	ワークシート アイデアスケッチ 観察	振り返りシート 活動の様子
	鑑賞	合評会 完成作品鑑賞	a:自己の心情や意図と関連させ、創造的な表現の工夫について明確に説明している b:自己の表したかった事を整理し、材料や用具、表現方法について具体的に分析し、今後の課題を示すことができている。 C: 主体的に自ら進んで発言等で鑑賞活動に参加し、粘り強く見方や感じ方を深めようとしている。	観察 発言の内容	ワークシート 振り返りシート	活動の様子 鑑賞レポート 振り返りシート
後期	色彩構成	平面構成（応用） ・モチーフからイメージし、自由に構成する	a: モチーフの観察や的確な画面構成から、自分のイメージを視覚的に表現している b:造形的な見方、考え方を働かせて感じ取ったことや考えたことを創造的に表現している c:アイデアスケッチや下描きを何度も行い、創造的な表現に向かい主体的に試行錯誤している。	制作途中の作品 作品 エスキース	ワークシート 振り返りシート	活動の様子 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	デッサン	デッサン（応用） ・紙袋、リボン、紙コップ、靴など	a:構図や形態やトーン、光などの性質やそれらが画面にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージを捉えながら表現している b:意図に応じて道具の特性を生かすとともに、表現方法を創意工夫し主題を追求して創造的に表している。 c: 自他の作品をよく観察し、より良い表現を目指し創意工夫している。	制作途中の作品 作品 クロッキー	ワークシート 振り返りシート	活動の様子 振り返りシート
	発展	等身大自画像	a:形や色彩、材料や光などの性質やそれらの造形的特徴を捉えたり、全体の作品のイメージをとらえることができている b:意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに表現方法を工夫して主題を追求している c:主体的に創造的に取り組み、新たな気づきや視点を表現に組み入れながら、最後まで粘り強く制作している。	制作途中の作品 作品 クロッキー	ワークシート 振り返りシート	活動の様子 振り返りシート
	鑑賞	合評会 完成作品鑑賞	a:自己の心情や意図と関連させ、創造的な表現の工夫について明確に説明している b:自己の表したかった事を整理し、材料や用具、表現方法について具体的に分析し、今後の課題を示すことができている。 C: 主体的に自ら進んで発言等で鑑賞活動に参加し、粘り強く見方や感じ方を深めようとしている。	観察 発言の内容	ワークシート 振り返りシート	活動の様子 鑑賞レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度